

TASCAM

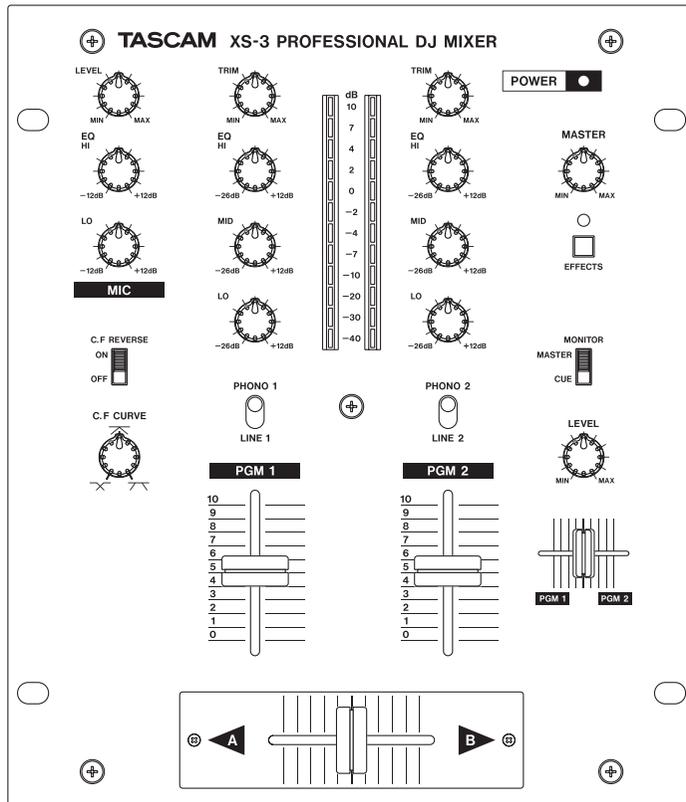
TEAC Professional Division

D00675000A

XS-3

DJ Mixer

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

 警告	
	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠警告

	この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2 cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所・ 湿気やほこりの多い場所・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

1. はじめに

このたびは、TASCAM XS-3をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全にお使いいただくために.....	2
1. はじめに.....	4
1.1. 接続時のご注意.....	4
1.2. シリアルナンバー表示.....	4
2. 各部の名称と機能.....	5
2.1. トップパネル.....	5
2.2. クロスフェーダーの交換方法.....	6
2.3. リアパネル.....	6
2.4. フロントパネル.....	7
3. 定格及び性能.....	7
4. ブロックダイアグラム.....	裏表紙

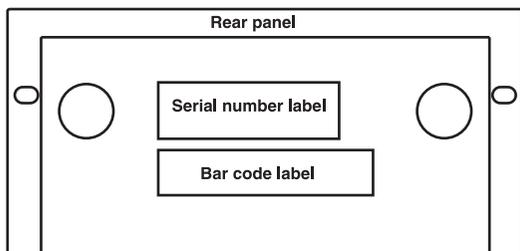
XS-3は、標準的なDJの使い勝手を踏襲するとともに、外部エフェクター、フェーダースタート機能等を備えた、2チャンネルDJミキサーです。

1.1. 接続時のご注意

全ての接続は、電源を切った状態で行ってください。
全ての接続が終わったら、XS-3に接続されている機器、XS-3、パワーアンプの順で電源を入れてください。電源を切る場合は、逆の手順で行ってください。
電源を切った後、再度電源を入れる場合は、電源を切って3秒以上経ってから行ってください。

1.2. シリアルナンバー表示

XS-3のシリアルナンバーは、本体のボトムパネルにあります。



この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、

土・日・祝日・弊社休業日を除く

9:30～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106

FAX：0422-52-6782

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまたは大阪サービスセンターまで

ご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、

土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00～17:40です。

修理センター

〒358-8510 埼玉県入間市小谷田857



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-962-8226

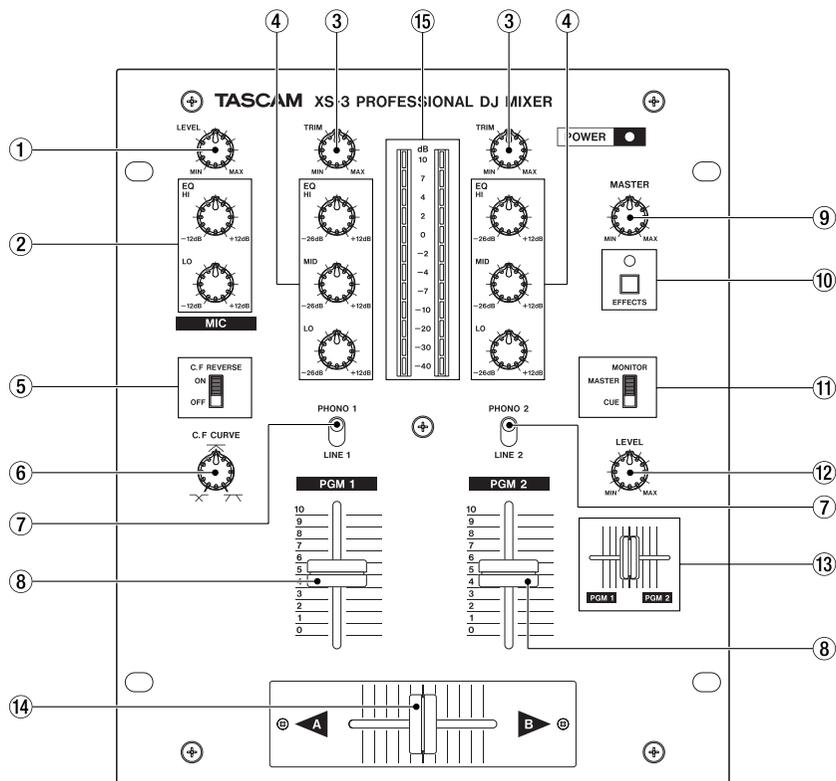
FAX：042-962-8379

大阪サービスセンター

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-34-10

電話：06-6384-5201

2. 各部の名称と機能



2.1. トップパネル

① MIC LEVEL

マイク入力レベルを調整します。

② MIC EQ

マイク入力用2バンドEQです。

③ TRIM

各PGMの入力信号レベルを調整します。

【ご注意】

入力信号のレベル調整は、メーターやヘッドホンを使って、歪まないように注意深くおこなってください。

④ PGM EQ

PGM用3バンドEQ。
全てのEQを-26dBにすると、音はカットされます。

⑤ C.F. REVERSE

クロスフェーダーオペレーションを逆にします。
OFF: クロスフェーダーをA側に動かすと、PGM Aの音が大きくなり、B側に動かすと、PGM Bの音が大きくなります。
ON: クロスフェーダーをA側に動かすと、PGM Bの音が大きくなり、B側に動かすと、PGM Aの音が大きくなります。

⑥ C.F. CURVE

クロスフェーダーのカーブを調整します。左側に回すとなめらかに、右側に回すとシャープなカーブになります。

⑦ PHONO/LINE

各PGMの入力ソースをPHONO入力にするかLINE入力にするかを選択します。

⑧ PGM FADER

各PGMのレベルを調整します。

⑨ MASTER LEVEL

MASTER OUT (TRSバランスおよびRCAアンバランス出力の両方) の出力レベルを調整します。

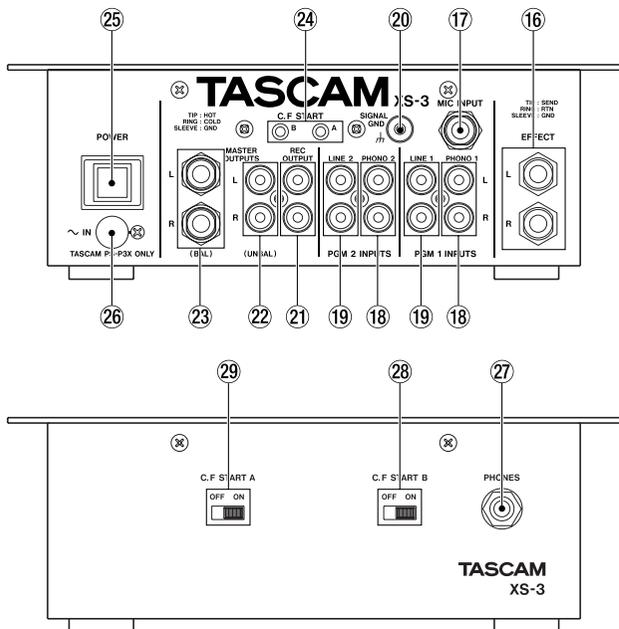
⑩ EFFECT switch and LED

MASTER出力に外部エフェクトをインサートします。インサートオンの場合、LEDが点灯します。

⑪ MONITOR MASTER/CUE

ヘッドホンモニターソースを選択します。
CUE: PGM信号をモニターします。PGM 1と2のバランスは、CUEバランスフェーダーで調整します。
MASTER: プリマスターボリューム信号をモニターします。

2. 各部の名称と機能



2.3. リアパネル

①6 EFFECT (TRS、アンバランス)

MASTERバスに外部エフェクトを挿入します。
外部エフェクターを接続します。

ピンアサイン

SEND	: Tip
RETURN	: Ring
GND	: Sleeve

①7 MIC INPUT (TRS、バランス)

マイクを接続します。

ピンアサイン

HOT	: Tip
COLD	: Ring
GND	: Sleeve

【ご注意】

アンバランスタイプのマイクを接続する場合、COLD (Ring) とGND (Sleeve) をショートしたケーブルをお使いください。

①8 PHONO INPUTS (RCA、アンバランス)

MMカートリッジを装着したレコードプレーヤーを接続します。

【警告】

PHONO出力以外の機器を接続しないでください。

①9 LINE INPUTS (RCA、アンバランス)

CDプレーヤーやMDなどのラインレベル出力機器を接続します。

②0 GND

レコードプレーヤーのアース線を接続します。アース線を接続しないと、ハムやノイズを発生する場合があります。

②1 REC OUTPUT (RCA、アンバランス)

プリマスターボリューム信号を出力します。

例えば、マスターレコーダーをこの端子に接続することにより、MASTERボリュームの位置に関係なく、DJミックスを録音することができます。

②2 MASTER OUTPUT (RCA、アンバランス)

マスターボリュームでコントロールされた信号を出力します。

②3 MASTER OUTPUT (TRS、バランス)

マスターボリュームでコントロールされた信号を出力します。

ピンアサイン

HOT	: Tip
COLD	: Ring
GND	: Sleeve

①2 LEVEL

ヘッドホン出力レベルを調整します。

①3 CUE BALANCE

ヘッドホンでのCUEモニター時の、PGM 1とPGM 2のレベルを調整します。

①4 CROSS FADER

PGM 1とPGM 2の信号のミキシングを行います。クロスフェーダーカーブ調整や、クロスフェーダーのリバース設定が可能です。クロスフェーダーは取り替えが可能です。また、クロスフェーダーでのフェーダースタートが可能です。

①5 INPUT LEVEL METER

各PGMのレベルを表示します。

【ご注意】

レベルメーターはPGMフェーダーの後のレベルを表示します。

2.2. クロスフェーダーの交換方法

1. クロスフェーダーパネルの2個のネジを外します。
2. クロスフェーダーを外します。
3. フェーダーに接続されているケーブルを外します。
4. 新しいクロスフェーダーを用意します。
5. 新しいクロスフェーダーにケーブルを接続します。
6. 新しいクロスフェーダーをネジ止めします。

3. 定格および性能

②4 C.F START

フェーダースタート機能を備えた、プレーヤーを接続します。クロスフェーダースタート機能は、A、B独立してオン/オフの設定が可能です。

クロスフェーダーを動かす事により、接続されたプレーヤーに対して、フェーダースタート/バックキュー信号を自動的に出力します。

【ご注意】

この機能をお使いになる場合、オーディオ信号も同じXS-3に接続してください。

フェーダースタート信号はTip端子から出力されます。バックキュー（フェーダーストップ）信号はSleeve端子から出力されます。

②5 POWERスイッチ

②6 AC アダプター

付属のPS-P3Xを接続します。

ACアダプタープラグの矢印位置と、リアパネル、ACアダプタージャック横の白いドットを合わせて接続してください。

【警告】

付属のPS-P3X以外のACアダプターを使用しないでください。

2.4. フロントパネル

②7 PHONES

ヘッドホンを接続します。

②8 C.F START B

クロスフェーダースタートBのオン/オフを行います。

②9 C.F START A

クロスフェーダースタートAのオン/オフを行います。

【ご注意】

クロスフェーダーリバースがオンの場合、クロスフェーダースタート動作も逆になります。

LINE INPUT (PGM1-2): RCA、アンバランス

入力レベル : -10dBV

入力インピーダンス : 10k Ω

PHONO INPUT (PGM1-2): RCA、アンバランス

入力レベル : -54dBV

入力インピーダンス : 47k Ω

MIC INPUT: TRS、バランス

入力レベル : -50dBV

入力インピーダンス : 2.8k Ω

MASTER OUTPUTS (balanced): TRS、バランス

規定出力レベル : +4dBu

出力インピーダンス : 75 Ω

MASTER OUTPUTS (unbalanced): RCA、アンバランス

規定出力レベル : 0dBV

出力インピーダンス : 100 Ω

REC OUTPUT: RCA、アンバランス

規定出力レベル : -10dBV

出力インピーダンス : 1k Ω

EFFECT (send): TRS、アンバランス

規定出力レベル : -4dBV

出力インピーダンス : 100 Ω

EFFECT (return): TRS、アンバランス

入力レベル : -4dBV

入力インピーダンス : 10k Ω

PHONES : 100mW+100mW
(33 Ω 負荷時)

周波数特性

LINE IN : 20Hz~20kHz、 ± 1.0 dB

PHONO IN : 30Hz~15kHz、 ± 2.0 dB (RIAA)

MIC IN : 30Hz~18kHz、 ± 3.0 dB

SN比

LINE IN : 78dB (IHF A WTD)

PHONO IN : 70dB (IHF A WTD)

MIC IN : 60dB (IHF A WTD)

歪率

LINE IN : 0.1%以下

PHONO IN : 0.2%以下

MIC IN : 0.2%以下

クロストーク : 60dB以上 (1kHz)

PGM EQ

HIGH : +12dB~-26dB

MID : +12dB~-26dB

LOW : +12dB~-26dB

フィルター (Cut Frequency at -6dB, slope 12dB/oct in all the cases)

HIGH : 6kHz

MID : 6kHz & 200Hz

LOW : 200Hz

MIC EQ

HIGH : 5.5kHz、+12dB~-12dB

LOW : 125Hz、+12dB~-12dB

電源 : 100V、50-60Hz

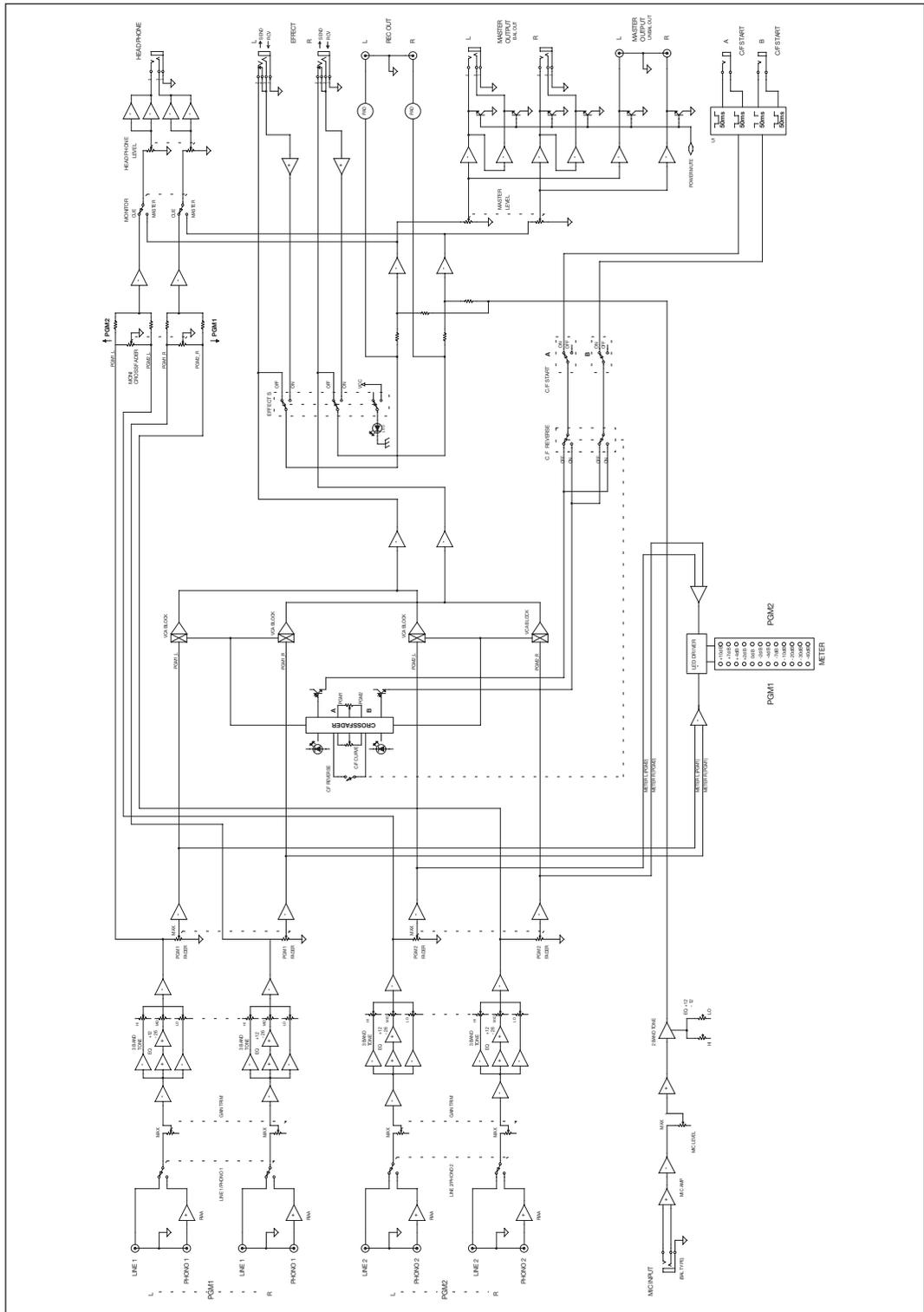
消費電力 : 13W

外形寸法 : 228 (幅) \times 87 (高さ) \times 267 (奥行き)

質量 : 2.6kg (本体)

0.6kg (ACアダプター)

4. ブロックダイアグラム



ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/tascam/>